

鳥取県看護協会だより

こすもす

第186号

2024年1月発行

会員数 4,280名

保健師 98名

助産師 208名

看護師 3,931名

准看護師 43名

(令和6年1月10日現在)



ホームページ新着に
「こすもす186号」を
2月末掲載します！

公益社団法人鳥取県看護協会

〒680-0901 鳥取市江津318-1 TEL 0857-29-8100 FAX 0857-29-8102

E-mail: kango@tottori-kangokyokai.or.jp 【発行責任者】松本美智子

鳥取県看護協会

検索

<https://www.tottori-kangokyokai.or.jp/>

令和5年度テーマ ▶ ポストコロナ時代に地域へつなぐ看護



写真提供 ～つきたてのお餅たち～/鳥取県立厚生病院 槇原 理恵 様

令和5年度の研修を3回以上受講された会員の方にクオカード(1,000円分)をプレゼント!

※研修No.に★がついている研修が対象です。

該当(3回以上受講)の方は、看護協会 教育部までお電話ください。

申込期限: 令和6年2月16日

発送: 令和6年3月上旬予定



CONTENTS

新年のご挨拶 会長	P 2
令和6年度鳥取県看護協会役員並びに令和7年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員の 立候補について/「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント」開催報告	P 3
地域包括ケアシステム推進研修会開催報告	P 4
第17回鳥取県看護研究学会開催報告/プラチナナース交流会開催報告	P 5
令和6年度ファーストレベル受講生募集/セカンドレベル研修会受講生の声	P 6
業務改善のとりくみについて(社会経済福祉委員会)/ 社会経済福祉委員会研修会開催報告	P 7

施設紹介「鳥取市医療看護専門学校」/輝き続ける プラチナナース/秋の叙勲 ...	P 8
がんばる! 育ナース/推しメン/専門・認定看護師	P 9
災害看護研修会開催報告/各地区活動委員会交流会開催報告/ 看護職員の処遇改善について④	P 10
鳥取県ナースセンター便り(第4号)	P 11
鳥取県への要望書提出/理事会報告/寄付金報告/会費の引き落と しについて/新刊図書/編集後記	P 12

新年のご挨拶

公益社団法人鳥取県看護協会 会長 松本 美智子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、日頃より、鳥取県看護協会の活動にご理解とご支援をいただきまして、深く感謝申し上げます。新春のお慶びを皆さまとともに心から祝いたいところではありますが、1月1日に震度7の能登半島地震、そして翌日には日本航空機と海上保安庁機との衝突事故という大惨事が発生した幕開けとなりました。鳥取県東部におきましても震度4の揺れ、そして津波注意報が発令され、被害が心配されましたが、幸い被害はなく安堵したところがあります。しかしながら、被災地では、多くの尊い命が奪われ、今なお被害の全容が把握できない状況です。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げ、被災地域の皆様が一日でも早く平穏な日々に戻れることを祈念いたします。さらに、被災地域でご尽力されている看護職の皆さまに心から敬意を表します。

そして、新型コロナウイルス感染症ですが、昨年5月に5類へ移行しましたが、新型コロナウイルス自体は変異を繰り返しており、今なお医療や介護現場の従事者には適切な感染対策の継続が求められています。4年近くに及び新型コロナウイルス感染症との対峙に際し、ご尽力いただきましたすべての看護職の皆さまに心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

さて、令和6年度には、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の同時改定いわゆるトリプル改定が行われます。従来からの要望でありました看護職員の処遇改善については、昨年までに補助金や診療報酬に看護職員処遇改善評価料の新設、医療職俸給表（三）の級別標準職務内容の改善が実現されました。しかしながら、看護職員処遇改善評価料は、看護職員の3分の2は対象外であり、すべての看護職員の処遇改善が可能となるよう日本看護協会、日本看護連盟や鳥取県看護連盟とともに要望活動を行ってまいりました。今回の報酬改定率を巡っては、非常に厳しい状況の中、一定の評価ができる改定率となりましたが、引き続きの取り組みが必要です。また、医師の働き方改革の施行に伴い看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアの促進や、感染症法及び医療法の改正に伴う新たな災害支援ナースの制度が始まります。さらには、「看護師等の確保を推進するための措置に関する基本的な指針」が制定以来30年ぶりに改訂され、看護の質の向上・量の確保の方向性が示されました。2040年に向けて少子超高齢社会に突入していく中で、全世代の健康と生活を支えるためには、看護職のさらなる専門性の発揮が期待されています。また、生産労働人口が減少する中で、看護人材の確保は喫緊の課題であり、看護職が働き続けられるための環境整備も不可欠です。取り組むべき課題は山積しております。

令和6年の干支は、甲辰（きのえ・たつ）です。甲辰は「春の日差しが、あまねく成長を助く年」だそうです。目に見える表だった行いも、これまで人目につかなかった行いも、ありとあらゆるすべてに光が当てられ、大きく変化していく年になると言われています。様々な場で活躍するすべての看護職に光が当たり、看護職としての専門性が発揮できるよう、現場の声を聴きながら、看護協会の役割を一つ一つ果たしていきたいと思っておりますので、引き続き会員の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年1月

令和6年度 鳥取県看護協会役員並びに 令和7年度 日本看護協会総会代議員及び 予備代議員の立候補について

「令和6年度鳥取県看護協会役員」、並びに「令和7年度日本看護協会総会代議員及び予備代議員」は、令和6年6月に開催する〈鳥取県看護協会 通常総会〉において選出されます。

このことについて立候補の受付を行いますので、届出される方は以下の要領を参照のうえ、手続きを行ってください。

選出区分

■ 令和6年度 鳥取県看護協会 役員 (10名)

副会長理事	1名	職 能 理 事	3名 (助産師：1名／看護師職能Ⅰ：1名／看護師職能Ⅱ：1名)
専 務 理 事	1名	地 区 理 事	3名 (東部地区1名／中部地区1名／西部地区1名)
常 任 理 事	1名	監 事	1名

■ 令和7年度 日本看護協会 総会代議員 (5名)

保 健 師	1名	看 護 師	2名
助 産 師	1名	准 看 護 師	1名

■ 令和7年度 日本看護協会 総会予備代議員 (8名)

保 健 師	2名	看 護 師	2名
助 産 師	2名	准 看 護 師	2名

届出方法
当協会ホームページ「新着情報」の立候補受付関係ページから、ダウンロードにより入手が可能です。

入手ができない場合は、鳥取県看護協会事務局へご連絡ください。

届出先
〒680-0901 鳥取市江津318-1
公益社団法人鳥取県看護協会
選挙管理委員長 宛

締切日
令和6年3月16日 (土)
(当日消印有効)

2023年度「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント」について



- 1) 目 的
- ・看護学生や保健師資格保有者等に自治体保健師の活動内容や魅力を発信する。
 - ・地域における各自治体の保健師の魅力・情報を発信し、県内自治体への就職につなげる。

- 2) 事業内容
1. 対 象 者：看護学生とその保護者
 2. 開 催 日 時：令和5年12月2日 (土) 13:00～16:00
 3. 会 場：鳥取看護大学 交流センター
 4. 参 加 者：看護学生 40名 保護者 2名
 5. 参加自治体：鳥取県 鳥取市 倉吉市 琴浦町 米子市 日南町

自治体で働く保健師は、地域保健・医療の専門職として様々な場所で活躍しており、住民の健康を支えています。

本イベントでは、第1部で、日本看護協会が都道府県・市町村・へき地と様々な場所で活躍する自治体保健師の活動内容や魅力についての講演をパブリックビューイングで配信。第2部は、本協会が自治体ごとに相談ブースを設置し、地域での保健師活動の魅力や特徴を説明したり相談内容を問わず対応するなんでも相談ブースを設置し、参加した学生に対応しました。

参加した学生からは、「保健師の活動について、生の声を聞くことができとても参考になった」「仕事の内容を具体的に知ることができ良かった」「今後もこのような会には参加したい」等の意見が聞かれました。このイベントを機に保健師活動への関心がさらに高まり保健師を目指す学生が増えることを期待します。



令和5年度

地域包括ケアシステム推進研修会

—ポストコロナ時代に地域へつなぐ看護—

開催日時
開催場所
参加人数
目 的

令和5年12月23日（土） 13:00～16:00

鳥取県看護研修センター／Zoom

156名（集合11名、Zoom145名）

人生100年時代の少子高齢化問題が特に深刻になる2040年を見据え、看護職が多職種と連携し、さまざまな場でのち・くらし・尊厳をまもり支える専門職としての役割を発揮するためには、どのような取り組みをしていく必要があるのかを考える。また、各職能委員会からの実践報告等好事例についての紹介と意見交換をする場とする。

特別
講演

テーマ 「全世代型地域包括ケアシステムを推進するために —看護職の更なる役割発揮とは—」

●講師 国際医療福祉大学大学院教授・副大学院長 福井 トシ子 氏
(Zoom参加)



実践
報告

テーマ 「ポストコロナ時代に地域へつなぐ看護」

1. 保健師職能委員会より

鳥取県福祉保健部長寿社会課 係長 阿部 恵太 氏

2. 助産師職能委員会より

鳥取大学医学部附属病院 助産師 渡部 佐和子 氏

3. 看護師職能委員会Ⅰより

鳥取赤十字病院 地域包括ケア病棟看護師 熊谷 怜奈 氏

4. 看護師職能委員会Ⅱより

N.K.Cナーシングコアコーポレーション合同会社 代表 神戸 貴子 氏



阿部 恵太



熊谷 怜奈



神戸 貴子
(Zoom参加)

感想

(アンケートより抜粋)

- 福井先生の講演はいつも看護職の道しるべとなるもので奮起させてくださる講演です。元気や勇気をいただきました。ありがとうございます。看護職の働き方は無限であると感じました。実践報告はそれぞれの立場で地域の住民さんに寄り添う視点をもたれ対応されていて感銘を受けました。沢山の仲間がいる事を再認識出来て自分の力になりました。ありがとうございます。
- 4人の実践報告がとても素晴らしく、新しいアイデアや工夫に感動しました。有意義な時間を共有できて良かったです。
- 「わたしの看護師さん（神戸氏の実践報告）」について初めて知りました。家族の立場としたら大変ありがたい仕組みですし、地域包括ケアシステムとして大変重要な資源だと思いました。いきいきとお話しされる姿に安心感・信頼を感じました。

「地域包括ケアシステム推進研修会」に参加して

鳥取市医療看護専門学校 2年 中嶋 美咲

今回の講演を聞いて、自分が看護師として働くようになって、多くの課題があることを感じました。

今の日本の現状として、生産年齢人口は減り高齢者は増え続けています。現在は1人の高齢者を2.6人で支えている状態ですが、さらに負担が増大していくことが考えられます。そのため、地域の中で支え合いながら過ごしていくためには、地域包括ケアシステムは大切だと思いました。地域共生社会では、全世代型の地域包括ケアシステムとし、産み育てる時から、高齢者までの方が住み慣れた地域で暮らしていけるようにしていくことを目指しているとうかがい、それにより地域というものがより身近となり、安心して過ごしていくことができると感じました。その地域に1番近い存在が看護師だということを改めて知り、病気の予防や健康管理、ニーズを知り、それに応えていくことなどを通して、信頼関係を構築することで、多くの地域の方と関わりを持つことが大切だと思いました。また、このことがさらに健康の維持、増進につながると感じました。

実践報告を聞いて、コロナ禍で、様々な制限がある中でも、どんなことができるのかを考え、実践していく姿を見習いたいと思いました。また、ニーズや思いを把握することから始め、その方の望んでいることを叶えるためには、多職種で連携していくということが大切で、様々な知識を持った方達と意見を出し合うことで、切れ目のない支援にもつながっていくと感じました。どれか1つの職種だけで取り組みなどを行う事は難しいため、医療と地域での連携を強くしていく必要があり他職種間だけではなく、地域とのつながり、連携という部分も考えていきたいと思いました。

令和2年度から3年間取り組んできました「地域包括ケアシステム推進フォーラム」から令和5年度は、「地域包括ケアシステム推進研修会」として3職能合同研修会（公開講座）として開催いたしました。

2040年を見据え、看護職がさまざまな場でのち・くらし・尊厳をまもり支える専門職としての役割を発揮するために、今後どのように取り組んでいく必要があるのかを考える機会となり有意義な会となりました。

第17回鳥取県看護研究学会 ～経験から未来につなぐ知と心～

開催
報告

● 実行委員長 山根 加絵
(鳥取赤十字病院)

● 開催日時 令和5年11月11日

● 参加者 126名

● 講師 みそら行政書士・社会福祉事務所 代表 鈴木 雅人

第17回鳥取県看護研究学会は、昨年度に引き続き「経験から未来につなぐ知と心」というテーマで開催しました。多忙な業務の合間を縫って、苦勞してまとめ上げ、貴重な研究成果を発表して下さった13人の発表者の皆様と、快く、座長、特別講演を、お引き受けしてくださいました先生方、ご支援くださいました会員の皆様、そして、開催に向けご尽力いただきました看護協会の皆様に心より感謝申し上げます。□演発表13演題それぞれより、多くの学びを得ることができ、鳥取県内さまざまな場所で活躍する多くの看護職と共有することができました。そして、その学びが各施設の明日への看護に繋がっていくものと信じております。特別講演では、鈴木先生より「看護職に求められる相談対応コミュニケーション」というテーマで講演していただき、患者様、ご家族からの多様な相談への対応方法において、大変、参考になりました。来年度は、少しでも、看護研究を取り組まれる皆様の支援となるよう、研究計画書の作成方法などが学べる研修を企画し、準備を進めています。来年度も、学会、研修とともに、多くの皆様にお会いできることを心待ちにしております。



鈴木講師を囲んで



学会の様子 かんごちゃんも参加し、質問しました。

★ プラチナナース交流会 ★ を行いました

プラチナナースの交流会を令和5年12月10日(日)に開催しました。この交流会は、近く定年退職を迎える看護職や退職後の看護職を対象に、令和4年度から開催しています。東部をメイン会場として、中部・西部の会場をZoomでつなぎ開催し、51名の参加がありました。

※プラチナナース：おおむね55歳以上及び、退職後の看護職

プログラム

第1部

◆ 講演
「看護職の人生設計、ライフプランを考える
～年金と働き方～」

講師：社会保険労務士法人MOYORINO

代表 三ツ國 全代 氏

第2部

◆ 実践報告
「キャリアを活かしたセカンドライフ」

報告書：保健師 山崎 益江 氏

助産師 藤 和子 氏

看護師 内田 教子 氏

◆ 交流会 「長年培った看護職のキャリアを活かすために」

- 定年後の年金、働き続ける時の年金の話聞くことができて良かった。
- いろいろな職場で働いた方々の話が聞けて参考になった。将来について自分がどうしたいのか考える機会になった。
- プラチナの方に勇気もらった。退職後の地域での活躍を聞けて良かった。
- もう少し頑張って働こうと思った。
- どういう視点をもってこれから過ごせば良いかととても参考になった。

参加者の声

アンケート
結果

満足度 97.9%

【満足させる内容だったか?】に「あてはまる」「ほぼあてはまる」と回答した割合



実践報告 (プラチナナースの報告)



交流会の様子

令和6年度 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル受講生募集!

やっぱり 私、看護が好きだ!

今の仕事に満足している人も、
もっと上を目指したい人も、
私なんてと思ってしまう人も、
管理職にならなくても、

看護がさらに好きになれる研修
ファーストレベル!!

受講要件 以下 1)~3) の要件をすべて満たしている者
1) 日本国の看護師免許を有する者
2) 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者
3) 管理的業務に関心がある者



▲募集要項はこちらから

受講申込期間 令和6年2月1日(木)~2月15日(木) * 必着

募集定員 80名

開催期間 令和6年5月10日(金)~7月26日(金)

* 募集の詳細は、「QRコード」からご覧ください。

鳥取県看護協会 認定看護管理者教育課程教育運営委員会

令和5年度 受講生に聞きました ファーストレベルってどんな研修?

ここが!楽しかった

- ✓ 苦手なグループワークを初めて楽しいと感じた
- ✓ 他施設の方との会話から刺激を受けた
- ✓ 横のつながり、仲間がたくさんできた

ここが!学びになった

- ✓ 振り返ると出来ていなかったことに気付いた
- ✓ 管理は上の方がするものだと思っていたが、自分でも活かせると思えるようになった
- ✓ 他施設の看護を知った

ここが!役に立った

- ✓ 職場から離れて学び、看護とは何か、自分自身を振り返るきっかけになった
- ✓ 社会情勢に目を向けることが殆どなかったけど、自分から情報を取ることで、マネジメントの力が発揮できる
- ✓ 自分自身、看護が大好きと認識した

ここが!今後に活かせる

- ✓ 一番大切なのはとにかくコミュニケーション!!
- ✓ 心理的安全性が保たれると色々なことが上手にいく
- ✓ どのように考えて行動していけばいいのか、たくさんのヒントをもらった
- ✓ 他職種との協働、マネジメントの考え方
- ✓ 違う視点に立って考えること

受講を悩んでいる皆さんへ

受講前は「レポートが大変」とマイナスイメージしかありませんでした。しかし、「自部署はどうか」と考えて受講することで、解決策も思い浮かぶようになり、レポートを書くことで頭も整理されるので、抵抗がなくなりました。ファーストの仲間との絆は宝物。2023年に行って良かった!

令和5年度認定看護管理者教育課程 セカンドレベルを受講して

開催期間: 令和5年 8月3日~
12月15日

受講者数: 24名

社会医療法人同愛会 博愛病院 三島 真弓

令和5年8月、セカンドレベルが始まりました。コロナが落ち着いたとはいえ、クラスターが発生した施設もあり、鳥取県看護研修センターにおける集合研修を中心に、一部Zoom受講者もいる状況で経過しました。初めは緊張で静かだった会場も今では受講生同士がとても仲が良く、笑い声が絶えない空間になりました。情報交換であったり、自部署の相談をしたり、相談できる良い仲間に出会えた感謝しています。

今回私がセカンドレベルを受けようと思ったのは、きっかけとしては上司の勧めがありましたが、ファーストレベルから15年経った今、管理の目線で人材・組織・資源・質を見ていく必要があると感じたからです。

すべての講義に刺激を受け、自分の悩みを解決するヒントを見出すことのできる研修でした。今後は管理者としてステップUPできるよう更に研鑽していきます。

医療法人財団共済会 清水病院 浅子 理絵

令和5年度のセカンドレベルは私にとって久しぶりの集合研修であり、少し緊張しながら8月の開講式を迎えました。

研修期間中は、講義の受講や課題提出、施設実習そして時には勤務表作成が重なり大変な時もありましたが、皆で笑いあい、時には涙を流しながらのあつという間の5か月間でした。勤務している施設が違とはいえ、管理者として皆が同じように悩みながら取り組む姿に、私自身も刺激を受けました。今回学んだ看護管理過程や理論を踏まえ管理業務に活かしていきたいと思います。

研修にあたり看護協会の担当の方々、ファシリテーターの方々には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。今後更に鳥取県の看護の発展のため、管理者として横のつながりも大切にしながら貢献していきたいと思います。



セカンドレベル閉講式 令和5年12月15日

社会経済福祉委員会では、委員会活動の目標の1つである「労働環境、労務改善に関する課題や対策を検討する」ということから委員会よりでた好事例を紹介します。

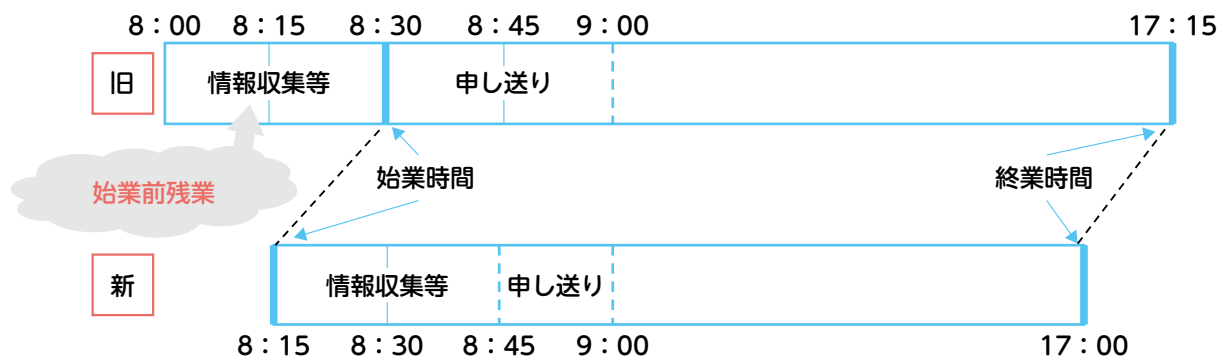
残業（始業前残業）を減らすことに成果をあげた事例

今回は南部町国民健康保険 西伯病院3B病棟（医療介護療養病棟）における取り組みを紹介します。

3B病棟では、日勤の始業前に30分～45分程度早く出勤して担当患者の情報収集や処置の準備、昼食後薬の準備等を行うことが通常になっていました。申し送りの後スムーズに業務に入れるよう、それらをせざるを得ない状況が長年続いておりました。

そこで、日勤の始業時間と終業時間を15分ずつ早める試みをしてみました。具体的には、始業時間を8時30分から8時15分に、申し送り開始時間を8時30分から8時45分に変更し申し送り前に30分の空き時間を作ることにしました。そうすることで今まで始業前に行っていた情報収集などの業務をその時間に充て、始業前の残業をなくすることができました。その代わりに、申し送り時間は15分程度しか確保できなくなりましたが、逆にそのおかげで簡潔明瞭で無駄のない申し送りを心がけるようになり今までより充実したものになっていると実感しています。

この取り組みをするにあたって、スタッフ全員の同意や、管理職、労働組合との協議などが必要でした。保育園等の送迎がある子育て世代が多い部署では業務時間の変更はなかなか難しいかもしれませんが、もしそれらの条件が整えば試してみてもはどうでしょうか。こういった業務改善の取り組みが、看護職の心身の健康の維持・改善、加えて病院の経営改善の一助になれば幸いです。



社会経済福祉委員会企画事業

「ポストコロナ時代に向けて！」

を開催して

社会経済福祉委員会委員
特別養護老人ホームはまゆう 岸田 敏子

ポストコロナ時代に向けて、体を動かしストレス軽減に繋げることで、明日から頑張れる自分をつくろうということで、社会経済福祉委員会では、令和5年10月28日ヨガを企画しました。

コロナが5類になり、閉塞された日々から少しだけ開放され、当初、鳥取砂丘で実施する予定でしたが、前日の悪天候の為、看護研修センターでの実施となりました。

参加者と委員で18名の参加でした。私自身左股関節と左下肢が痛くついていけるかどうか心配しつつの参加でしたが、講師の優しい声に励まされながら行った時間は、とても短く感じられ癒されました。

参加者は、会員はもちろん、非会員の方や子ども同伴の方など様々でしたが、協会に来て実施したことで看護協会を知っていただくことができました。次年度も予定していますので、ぜひ、素敵なお時間を楽しんで欲しいです。

- 講師は、鳥取県中部で活躍の yoga happiness 田村 真由美さます。
- 当日の様子がのっています。



▲Instagram



施設紹介

～ポストコロナ時代に
地域へつなぐ看護～

学校法人大阪滋慶学園 鳥取市医療看護専門学校

学校法人大阪滋慶学園鳥取市医療看護専門学校は、平成27年4月に開校いたしました。鳥取市の医療を担う人材を養成するために設立されました。看護学科、理学療法士学科、作業療法士学科、医療福祉総合学科があります。看護学科は鳥取県東部の病院や福祉施設で実習をさせていただき、地域全体で未来の看護師を育てていただいています。令和4年度から看護養成学校のカリキュラムが改正になり、鳥取県の現状を考え、編成を行いました。地域で働く看護師を目指しています。看護教員は、地域で信頼される、愛される看護師になって欲しいと思い、講義や演習、実習指導と熱い思いで取り組んでいます。

また、多職種協働を意識した授業展開をし、多くの視点から考えられるよう日々頑張っています。

看護師の仕事は大変ですが、「地域の人々の健康や生活を支えることはやりがいがある」「楽しい」「地域に貢献している」「求められることが多い」などを伝えていけるよう、また、看護職を目指す学生に寄り添っていける学校です。



学校の外観



他職種連携演習



沐浴演習



ストーマ指導演習

Keep Shining 輝き続ける プラチナナース

鳥取北地域包括支援センター
所長 池本 圭子



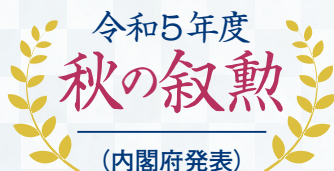
地域ケア会議の様子

県外の病院から鳥取の病院へ33年間、急性期・回復期・在宅医療を有する病院に勤務しました。訪問看護や地域連携室等在宅経験が長かったこともあり、退職後は主に地域包括支援センターで勤務しています。

地域包括支援センターは、患者さんという概念ではなく、地域住民が対象で、保健・医療・福祉に関する相談や対応等を行っています。相談は、健康、生活困窮、認知症、家族関係、施設入所、介護保険等多様で複雑化しています。相談があれば訪問し状況確認を行い、職場チームで相談、内容により地域の協力を得たり、会議を開催、医療や専門機関に繋ぎ、多職種連携や協働し対応できるよう努めています。

私にとっては毎日が“1日として同じ日はなく”、緊張や発見、また、体力勝負でもあります。幸いにも、周囲には研修会や多職種連携の交流など学ぶ機会が多くあります。今は、吸収力やテンポもゆっくりですが、年齢に臆することなく自己研鑽をめざして参加し続けたいと思っています。

秋の瑞宝単光章 受賞 おめでとうございます！



佐々木 佐登美 様

(元 鳥取大学医学部附属病院看護部副看護部長)

長年にわたり看護職としての素晴らしいご功績が認められ、この度の受賞となりました。敬意を表しますとともに、お慶び申し上げます。



がんばる！ 育ナース



医療法人財団共済会 清水病院
看護師 牧田 瑞歩



新卒で清水病院へ入職して9年目になり、現在4歳になる子供がいます。1年間の育児休暇を取得した後、夫の協力もあり4ヶ月でフルタイム勤務へ、さらに当直業務を再開しました。夜間・休日勤務等に制限があるなか勤務調整をして下さり、仕事と育児の両立ができるような環境で働かせていただいています。また、現在第2子妊娠中ですが、妊娠がわかるとすぐに体調面を気にかけていただき、業務内容の調整や妊娠中でも無理なく働ける環境を整えて下さいました。

子供の体調不良で急にお休みし、ご迷惑をおかけしてしまうことも多々ありますが、職場の方々の温かい心遣いにとっても感謝しています。

これから環境が大きく変化すると思いますが、今後も仕事と育児の両立ができるよう頑張っていきたいと思っています。

ちょっと一息

推しメン

医療法人里仁会 北岡病院
看護師 生田 莉佳



私は当院に入職し3年目になります。現在は内科病棟で実践を積み重ねています。日々の業務を行っている中、意思疎通の困難な患者さんと多く接する機会があります。表情の変化、バイタルサインの変化、ほんの少しの変化などで評価しなければならないことがあるので、難しく思うこともありますが、とてもやりがいを感じています。患者さんが少しでも苦痛なく入院生活を送れるよう努力しています。

また地域包括ケア病床もあり、患者さんの入院時から退院後を見据えた生活を意識し、入院中の看護師の役割は？患者さんの目標は？家族さんの関わりはどうか？など多くのことを考えなければいけない為、チームメンバー・他職種と連携し合い患者さんを退院まで支えています。

今日関わらせていただいた患者さんが明日も必ずいらっしやるとは限りません。限りある時間の中で自分に出来る最善の看護を提供できるよう今後も頑張っていきたいと思っています。

専門看護師・認定看護師 は こんな 活動 しています

がん化学療法看護認定看護師

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 鳥取県済生会境港総合病院
がん化学療法看護認定看護師 入江 順子



外来化学療法室にて投与管理と副作用症状マネジメントを中心に専門的知識のもと看護を提供しています。

がん化学療法を受ける患者さんは副作用や予後に対する不安、身体的苦痛、社会生活への影響など様々な不安を抱えています。患者さんとの会話を通して何を大切に思っているか、治療に向き合っておられるか、日常生活を送るうえで困っていることはないかなどお話を聞き、不安を医師にうまく伝えられない患者さんの思いなど代弁し、副作用に対して症状が軽減できるようにセルフケア支援を行っています。

近年抗がん剤の進歩は著しいものがあり多種多様です。そのため複雑化する化学療法について細心の注意が必要となっています。日々の実践においてスタッフより投与管理や副作用に関する相談に対してアドバイスも行っています。

患者さんが自分らしい生活を送りながら安心して治療を受けることができるよう関わっていきたいと考えています。

災害看護研修開催報告

災害看護委員 木下 深雪（鳥取県立厚生病院）

●開催日時：令和5年12月16日 ●参加者：8名
●講師：・社会福祉法人北海道社会事業協会函館病院
看護副部長 兼 院内感染対策室長 今野 美幸 氏
・すずかけヘルスケアホスピタル 大場 好子 氏

「身近に起こる災害 その時あなたは看護師として力になれる」と題して、災害看護研修を実施しました。

北海道・静岡県で災害支援ナースとして実際に活動をされている2名の講師をお迎えしました。東日本大震災・北海道胆振東部地震・熱海市伊豆山地区土砂災害へ災害支援ナースとして派遣された実際と、活動を通しての学び・やりがい、その思いについて伺うことができました。

避難所での避難者とのやり取りや支援の実際は、避難者の思いも知ることができ、とても貴重な内容となりました。

日々の看護が災害現場でも生きてくことや日々の看護実践の中でも常に考え、自問自答しながら行動することが災害時に役に立ってくることを再認識する時間となりました。



講義の様子

受講生の感想

- 現地の人を支えるための活動を自ら情報収集し、活動に繋げていく大切さが分かりました。
- なかなか県外の支援ナースの話を聞くことができないので、今回貴重な話を聞きながら全国で同じ思いで頑張っているという繋がりを感じられ、頑張って災害支援ナースを広げていきたいと思いました。

各地区活動委員会 交流会 開催報告

東部地区

カラーセラピーとヨガで心と体を整える ～色とヨガがもたらすリラクゼーション～

開催日：12月8日（金） 参加者：9名

東部地区活動委員長 榎 智子（鳥取医療センター）「カラーセラピーとヨガで心と体を整える」というテーマでCare space kara代表桑本さと子氏を講師としてお招きし、交流会を開催いたしました。色の見える仕組みや色の意味、色のもたらす効果などを講義で学びました。クレヨンを用いて実際に色を選ぶことで自身の考え方や物のとらえ方の傾向を知る機会にもなりました。その後のヨガ体験にて心身ともにリフレッシュすることができました。

グループワークでは、経験年数の異なる看護師同士が自身のリラクセス法を意見交換する中で、お互いの職場での葛藤や仕事への向き合い方を話すことにもつながり、活発な意見交換の場となり、看護の活力につながる有意義な交流会となりました。



ヨガで心と体をリフレッシュ！

中部地区

バランスボールでエクササイズ ～楽しく弾んで、心と体をリフレッシュ～

開催日：12月9日（土） 参加者：14名+子ども2名

中部地区活動委員長 山根 香里（鳥取県立厚生病院）バランスボールインストラクターの磯江琴美氏を講師に迎え、講義の後に実際にバランスボール運動を行いました。バランスボール運動は自律神経に働きかけ、幸せホルモン（セロトニン）が出るということで、気づけば皆が笑顔で弾んでいました。ボールを使用したストレッチ運動もあり、「普段使わない筋肉を回す、伸ばすことでスッキリした」「今後、家でもやってみたい」などの感想を頂きました。看護職特有の変則勤務での疲労回復や、継続的な運動への啓発になったことが何え、明日に繋がる交流会となりました。今回は30歳代以下の参加が半数以上あり、若年看護職が参加しやすい交流会を今後も計画していきたいと思います。



磯江講師を囲んで

西部地区

命について考える ～患者・家族に寄り添うということ～

開催日：12月5日（火） 参加者：19名

西部地区活動委員長 山本 智子（総合療育センター）泉龍寺三島ご住職を招き、ご自身の介護体験や子育て経験を交えながらお話をさせて頂きました。講演後は、病院・施設等との連携強化に繋がるよう交流会を実施しました。現状を報告しながら、「連携」「看取り」「ACP」のキーワードでグループワークを行い、看取りやエンディングノートなどの話し合いが活発に行われ、ご住職が各グループへ訪問し更に盛り上がりしました。

グループワークでは色々な立場での話しや他施設での取り組みについて報告し、相互理解を深めることが出来ました。開始時はピンと張り詰めた緊張感がありましたが、ご住職お手製弁当のお話で皆さんの緊張が解き放たれ、研修終了後は参加者全員笑顔で大成功の交流会でした。



グループワークの様子

看護職員の処遇改善について④ 広報委員会

2022年11月18日に、「看護師がキャリアアップに伴いより高い職務の級に昇格できる」よう見直しがあった「国家公務員医療職俸給表（三）の級別標準職務表」の改正内容をみていきましょう。

改正前	改正後
1級 准看護師の職務	准看護師の職務
2級 1. 看護師の職務 2. 保健師又は助産師の職務	1. 看護師の職務 2. 保健師又は助産師の職務
3級 医療機関の看護部長の職務	1. 医療機関の看護部長の職務 2. 特に高度の知識経験に基づき困難な業務を処理する看護師の職務
4級 医療機関の副看護部長もしくは副看護部長または困難な業務を処理する看護部長の職務	医療機関の相当困難な業務を処理する看護部長の職務
5級 医療機関の総看護部長もしくは看護部長又は困難な業務を処理する副総看護部長もしくは副看護部長の職務	医療機関の総看護部長もしくは看護部長又は困難な業務を処理する副総看護部長もしくは副看護部長の職務
6級 特に規模の大きい医療機関の総看護部長または看護部長の職務	特に規模の大きい医療機関の看護部長または看護部長の職務
7級 極めて規模の大きい医療機関の看護部長の職務	極めて規模の大きい医療機関の看護部長の職務

やりがいをもって働き続けられる看護職員の処遇の実現を目指して

- ①3級に新たに位置付いた「副看護部長」は、その名称でなくても、主任、係長等の自施設で師長の補佐を行う中間管理職と読み替えることができます。
- ②「特に高度の知識経験に基づき困難な業務を処理する看護師」には、認定・専門看護師のような認定された専門性の高い看護師だけでなく、熟練したジェネラリストも対象として読み解くことが可能です。

ジェネラリストを適切に評価するためには、ラダーの活用などが有用です。

国が進める看護職員の処遇改善や医療職俸給表（三）の見直しがされても、看護職員の処遇を最終的に決定するのは各医療機関です。

また、日本看護協会は関係団体と協働し、2024年度診療報酬改定にむけて、「すべての看護職員の賃上げ」の要望を続けた結果、国は改定率を0.88%増とする方針を固めました。

これらを契機として、自施設における看護の専門性と役割の重要性に見合った賃金体系の導入と処遇改善に向けて、看護職員一人ひとりが専門職にふさわしい賃金について考えていきましょう。

（出典：公益社団法人日本看護協会リーフレット）

鳥取県 ナースセンター便り

第4号

『鳥取県ナースセンター』は厚生労働大臣の許可を受けた**看護職のための無料職業紹介所**です。
就業相談や仕事の悩みなどお気軽にご相談ください！

令和5年度 再就業支援研修の実績 (東部・西部の2会場で実施)

令和5年度の再就業支援研修はすべて終了しました。
研修参加人数は以下のとおりです。多くの方のご参加
ありがとうございました。

今後も引き続き看護職の皆様の就業を支援いたします。

〈講義・演習〉延べ95名参加

感染予防／フィジカルアセスメント／医療安全／急変時看護／
認知症看護／口腔ケア・摂食・嚥下／皮膚・排泄ケア



～参加者の声～

- 診療所や施設の役割、看護師としての仕事内容を知ることができた。
- 新しい現場で働くのは不安だが、講義を聞いて具体的にイメージすることができた。
- 介護の職場の素晴らしさ、やりがいを改めて実感した。

〈看護基礎技術研修〉延べ35名参加

点滴・採血・注射／移乗・ポジショニング／喀痰吸引etc.

～参加者の声～

- 基礎的な手順を学べて、慣れない医療器具も使用でき不安が減った。
- 終始楽しい雰囲気でき、再就職への不安が軽減した。
- 手技を忘れて年数がたっていたが、基礎から技術を学び自信がわいた。



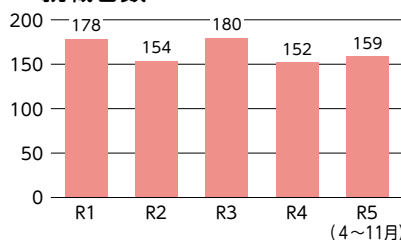
〈高齢者介護施設の看護師確保・定着に関する研修〉延べ29名参加



～参加者の声～

- 教育方法や体制作りに行き詰まっていたが、他の施設の方と意見交換して参考になった。
- 責任者やプリセプターと交流をすることでこれからどう仕事を続けて行くのか考えることができた。

就職者数 (ナースセンター登録者)



鳥取県ナースセンターに登録した求職者のうち、毎年**150名以上**の方が就職につながっています！

令和5年度 鳥取県内病院 看護職員新規採用者の採用状況調査

10月に、県内の43病院の看護職員採用状況の調査を行っています。

	4/1付	10/1付
東 部	151名	16名
中 部	41名	23名
西 部	147名	31名
合 計	339名	70名



- ・ 令和5年4月1日付の入職者数は339名で、昨年同時期の365名と比べて減少していますが、前倒しで前年度中に採用された方がいるので一概には言えません。
- ・ 令和5年度は、年度途中の採用(4月2日～10月1日)について調査し、70名の入職者がありました。ご協力ありがとうございました！

Information

鳥取県看護職員就職ガイダンス(オンライン開催)

鳥取県ナースセンターでは、看護学生や未就業の看護職を対象に求人施設の説明会「鳥取県看護職員就職ガイダンス」をオンラインで開催します。

地 区	日 時
東部地区	令和6年2月17日(土)
中部地区	令和6年3月2日(土)
西部地区	令和6年3月9日(土)

※詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせします

届出制度「またいつか働きたい」をサポート

看護職員が病院等を離職した際は都道府県ナースセンターへの届出が必要です。



看護職等の届出サイト

とどけるん

職場を変わられる際には届出をお願いします。

就業コーディネーターがキャリアコンサルタントの資格を取得しました！



相談者の生活と働き甲斐(看護のやりがい)や大切にしたいことを一緒に考え、よりよい就業へつながるよう支援させていただきます。

就業コーディネーター・キャリアコンサルタント
安住 朋代

国家資格キャリアコンサルタントとは…労働者の職業の選択、職業生活設計等に関する相談に応じ、助言及び指導を行う専門家です。



鳥取県ナースセンター

E-mail tottori@nurse-center.net

TEL 0800-222-1232



令和6年度 鳥取県への要望書

令和5年11月7日（火）、令和6年度当初予算編成・政策策定に関する鳥取県知事宛要望書を中西福祉保健部長へ提出してまいりました。

▼要望内容は以下のとおりです。

- 1 新型コロナウイルス感染症・新興感染症への対応
- 2 看護職員の処遇改善（賃金の抜本的見直し）
- 3 看護職の高度人材育成と専門性の発揮に係る事業
- 4 地域における看護提供体制の強化
- 5 全世代型地域包括ケアシステム及び地域共生社会の推進



鳥取県庁において要望書を手渡す松本会長

理事会報告

第7回 令和5年12月7日(木) 13:00~16:40
場所 鳥取県看護研修センター・ZOOM

【協議事項】

- 協議1. 基本方針・政策
1-1 令和6年度重点政策・重点事業（案）について
- 協議2. 事業推進に関する事項
2-1 令和5年度（7月～9月）監査報告
- 協議3. 管理的事項
3-1 各種推薦について
1) 日本看護協会会長表彰
2) 日本看護協会推薦委員
3-2 賃金規程および訪問看護ステーション運営規程の改正について
3-3 看護研修センターのキュービクル（受変電設備）更新工事について
- 協議4. 人事関係
今回はなし
- 協議5. その他
今回はなし

【報告事項】

- 報告1. 基本方針・政策
今回はなし
- 報告2. 事業推進に関する事項
2-1 令和5年度日本看護協会第5回理事会・第3回法人委員会
2-2 令和6年度当初予算編成・政策策定に関する要望書の提出について
2-3 事業報告
1) 常務理事会報告
2) 執務執行理事報告
3) 各委員会報告
4) 令和5年度鳥取県看護協会決算見込みについて
5) 重点事業の実施状況と評価について
6) 各事業報告
①看護職員のための訪問看護職場体験事業について
②第17回鳥取県看護研究学会の開催について
③新型コロナウイルス感染症への対応について
④災害支援ナース養成研修等について
2-4 会議報告
1) 2023年度中国・四国地区法人委員会・法人会員連絡会・職能委員長会
- 2) 2023年度都道府県看護協会広報担当役員会議報告
3) 2023年度都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議
4) 医療事故調査制度に関する情報交換会
2-5 その他
1) 中山間地を支える医療人材確保に向けた研究会について
- 報告3. 管理的事項
3-1 令和5年度入会員の報告
3-2 令和5年度前期（4月から9月）長期療養者報告について
3-3 理事の改選について
- 報告4. 人事関係
4-1 職員の異動・退職について
- 報告5. 書面報告
5-1 令和5年度第6回理事会議事録
- 報告6. その他
6-1 寄付金について
6-2 心魂プロジェクトについて
その他 看護連盟看護政策セミナーについて
すべての看護職員の賃上げを可能とする財政支援に関する国会議員への要望活動について

2024（令和6年度）会費のお知らせ

2024年度会費の口座振替日が変わります。

看護協会会費納入方法を「口座振替」に選択されている方へお知らせいたします。

これまで会費の口座振替日は1月に実施しておりましたが、
2024（令和6年度）分の会費より

2月27日（火）となります。

寄付金のお礼

以下の2団体様よりご寄付をいただきました。
心よりお礼申し上げます。

- ・鳥取県実践が活きる看護診断研究会
- ・東洋羽毛中四国販売株式会社岡山営業所

新刊図書



看護管理者が知っておきたい
「様式9」の基礎講座

監修 福井トシ子
編著 一般社団法人日本施設基準管理士協会
MCメディア出版 発行



高齢者のナイトケア

編著 尾崎章子・坪井桂子
日本看護協会出版会 発行

編集後記



あけましておめでとうございます。能登半島地震に被害に遭われた皆様にはお見舞い申し上げます。また鳥取県からDMAT派遣など医療の現場で支援活動も始まりました。私も微力ながら復興支援への協力を今後もしていきたいと思えます。さて、今年は3年ぶりのオリンピックイヤーです。日本を代表する選手や世界的に有名な選手が感動と喜びを与え、日本人の心に少しでも灯りをともしてくれることでしょう。本年も広報委員会をよろしくお願いいたします。

（広報委員 谷本）